

地域県土警察常任委員会資料

(令和8年9月15日)

ページ

- 令和8年度武蔵野市家族自然体験交流事業について
【中山間・地域振興課】・・・2
- 令和7年観光客入込動態調査結果について
【観光戦略課】・・・3
- ジャマイカにおける世界陸上事前キャンプ協定締結式・ウェストモアランド県友好10周年行事等について
【交流推進課】・・・4
- ニューヨークにおける知事トッププロモーション等について
【国際観光課、交流推進課】・・・6
- 令和8年度鳥取県多文化共生支援ネットワーク会議の開催結果について
【交流推進課】・・・8
- 漫画「四十七大戦」10周年記念企画の開催について
【まんが王国官房】・・・9

輝く鳥取創造本部

令和8年度武蔵野市家族自然体験交流事業について

令和8年9月15日
中山間・地域振興課

鳥取県と東京都武蔵野市は、平成15年5月の「都市と農山漁村との相互交流宣言～元気・活力宣言～」を契機として武蔵野市在住の家族を県内の中山間地域に受け入れ、自然体験や民泊等を通じた住民同士の交流を行っています。15回目となった今年度は1市2町（鳥取市、岩美町（武蔵野市と友好都市交流）、若桜町）で11家族35名を受け入れましたので報告します。

- 1 受入期間 8月20日（木）から24日（月）（4泊5日）
- 2 受入家族数 11家族（35名） ※武蔵野市在住の家族
※これまでの受入人数：延べ1,406人（438家族）

3 体験内容

日 程	体験先	体験内容
【1～2日目】 8月20日（木）～21日（金）	岩美町	おそうじカヤック体験、磯の観察会（城原海岸）、遊覧船乗船など
【3日目】 8月22日（土）午前	鳥取市（福部町）	鳥取砂丘見学
【3～5日目】 8月22日（土）午後～24日（月）午前	鳥取市（佐治町）	佐治谷ばなし体験、民俗資料館見学、梨園見学、さじアストロパーク見学、魚のつかみ取り・調理体験、林業体験など
	鳥取市（河原町）	窯元見学、野菜収穫体験、梨収穫体験、カレー作り、魚のつかみ取り体験、溪流探検、ジビエバーベキュー など
	若桜町	若桜鉄道乗車体験、おもちゃ館見学、草細工体験、カレー作り、座禅体験、そば打ち・流しそば体験、ウィンナーづくり体験、魚のつかみ取り・調理体験 など

4 武蔵野市から参加した家族の主な感想

- ・岩美町の海は本当に美しく、“岩美ブルー”をもっと世界に広めたいと思った。
- ・民泊家庭の方が本当のおじいちゃん、おばあちゃんのように温かく迎えてくださり嬉しかった。今後も年賀状を送る等して交流を続けたい。
- ・今回のご縁を一度きりで終わらせず、ふるさと納税や名産品の購入等を行い、今後もつながりを持ち続けたい。
- ・山間地域に滞在するなかで、子どもと一緒に過疎化について真剣に考えた。
- ・子どもが帰り際に「帰りたくない。」と言っていた。またぜひ家族で鳥取を訪れたい。



磯の観察会（岩美町）



蕎麦打ち体験（若桜町）



梨収穫体験、住民との交流
（鳥取市河原町）

令和7年観光客入込動態調査結果について

令和8年9月15日
観 光 戦 略 課

令和7年観光客入込動態調査結果を取りまとめたので、その結果を報告します。

1 調査結果(概要)

令和7年の観光入込客数は、前年と比較して実人数推計で93千人減少（令和6年対比▲0.9%）した一方、周遊促進の取組等により延べ人数推計で719千人の増加（+3.6%）となりました。

観光需要が万博へシフトし、県内客が減少した一方で、万博を契機とした誘客プログラム「とっとりアルパビリオン」による情報発信や米子台北便の新規就航等により、インバウンドを含む県外客は287千人増加（令和6年対比+5.8%）しました。

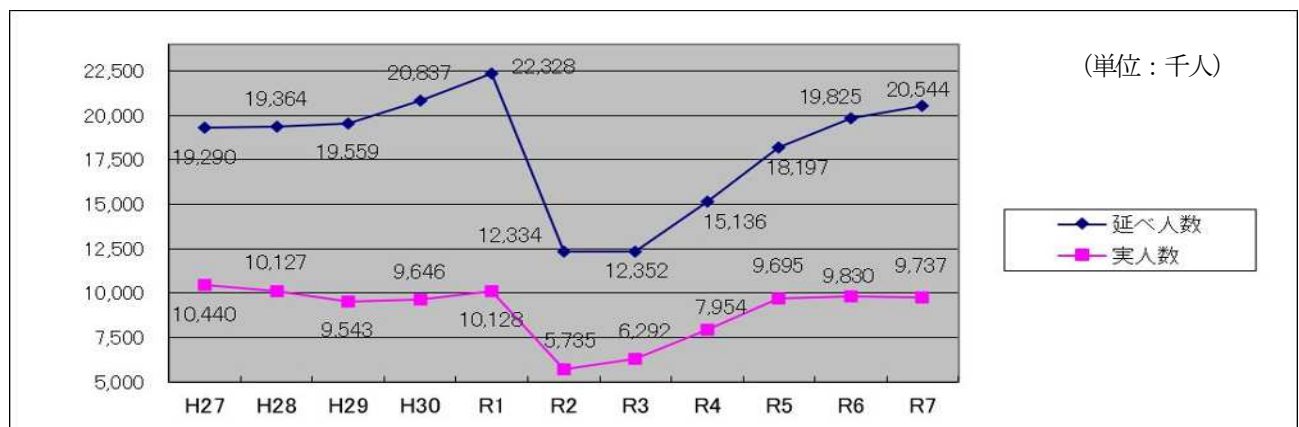
外国人延べ宿泊者数は、米子ソウル便の増便や米子台北便の新規就航のほか、万博に合わせたプロモーションやSNSを活用した情報発信等により、203,600人泊（令和6年対比+85,210人泊、+72.0%）となり、コロナ禍前の宿泊者数を超えて初めての年間200千人を突破し、過去最高となりました。

今後も本県の豊かな自然や歴史、文化、食等を生かした魅力を磨き上げ、発信するとともに、様々なキャンペーンなどを実施し、さらなる誘客促進に取り組めます。

2 主な項目の調査結果

区分	令和7年 人（泊）数	令和6年との比較		コロナ前（令和元年）との比較	
		増減	増減率	増減	対令和元年比
観光客入込客数（実人数）	9,737千人	▲93千人	▲0.9%	▲391千人	96.1%
うち県外客数（実人数）	5,255千人	+287千人	+5.8%	▲845千人	86.1%
うち県内客数（実人数）	4,482千人	▲380千人	▲7.8%	+454千人	111.3%
観光客入込客数（延べ人数）	20,544千人	+719千人	+3.6%	▲1,784千人	92.0%
日帰り客数（実人数）	7,633千人	▲37千人	▲0.5%	▲127千人	98.4%
宿泊者数（実人数）	2,104千人	▲56千人	▲2.6%	▲264千人	88.9%
温泉地入湯客数	973千人	+13千人	+1.4%	▲81千人	92.3%
外国人宿泊者数（延べ人数）	203,600人泊	+85,210人泊	+72.0%	+19千人泊	110.3%

3 入込観光客数(延べ人数、実人数)の推移



ジャマイカにおける世界陸上事前キャンプ協定締結式・ウェストモアランド県 友好 10 周年行事等について

令和 8 年 9 月 15 日
交 流 推 進 課

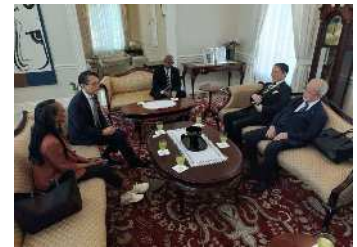
ジャマイカ・キングストンにて、北京 2027 世界陸上ジャマイカ代表選手団事前キャンプに係るジャマイカ陸上競技連盟との協定締結、本県との姉妹都市であるウェストモアランド県との姉妹提携 10 周年式典等を行いましたので報告します。

1 在ジャマイカ日本国大使館丸山浩平大使との面談

- (1) 日 時 8 月 31 日 (月) 11 時 25 分から 11 時 55 分まで (現地時間)
- (2) 場 所 在ジャマイカ日本国大使公邸 (キングストン市)
- (3) 出席者 平井伸治知事、浜崎晋一県議会議員、
丸山浩平(まるやまこうへい)
駐ジャマイカ日本国特命全権大使ほか

(4) 概 要

- ・平井知事から、スポーツを中心とした本県とジャマイカとの交流状況を報告し、丸山大使からは、ご自身の故郷でもある本県の取組に高い評価をいただいた。



丸山大使との面談の様子

2 北京2027世界陸上ジャマイカ代表選手団事前キャンプ協定締結式

- (1) 日 時 8 月 31 日 (月) 14 時 10 分から 15 時 05 分まで (現地時間)
- (2) 場 所 ザ・ジャマイカ・ペガサスホテル (キングストン市)
- (3) 出席者 鳥取県：平井伸治知事、浜崎晋一鳥取陸上競技協会会長
相手方：ガース・ゲイル ジャマイカ陸上競技連盟会長 ほか
立会人：オリビア・グランジ文化・ジェンダー・娯楽スポーツ大臣
デスモンド・マッケンジー地方政府・地方開発大臣
丸山浩平(まるやまこうへい) 駐ジャマイカ日本国特命全権大使
※深澤義彦鳥取市長は事前署名

(4) 概 要

- ・2027 年 9 月に中国・北京で開催される世界陸上競技選手権大会に出場するジャマイカ選手団の事前キャンプを鳥取市で実施することについて、鳥取県・鳥取市・鳥取陸上競技協会・ジャマイカ陸上競技連盟の 4 者で協定締結を行った。
- ・浜崎会長からは、協定締結への謝意が示され、次回キャンプでも全力でサポートすることを明言された。
- ・平井知事は、過去の事前キャンプの成果を紹介し、次回キャンプでジャマイカの活躍に協力していくとコメントした。
- ・ゲイル会長は、これまでの陸上競技を通じた友好交流に対する感謝と、今後も絆を強固にしていきたい旨を述べられた。
- ・グランジ大臣は、鳥取県との強い連携を再確認するとともに、手厚いサポートに対する謝意を表明された。
- ・マッケンジー大臣は、知事・会長の訪問及びこれまで築いてきたジャマイカとの友好関係に対する謝意を述べられた。
- ・丸山大使は、協定締結を歓迎するとともに、交流を大使館として支援し、来年の事前キャンプ成功を祈念すると述べられた。



(前列左から) 浜崎会長、ゲイル会長、平井知事
(後列左から) マッケンジー大臣、グランジ大臣、
丸山大使

3 ウェストモアランド県姉妹提携10周年式典

- (1) 日 時 8月31日(月) 15時20分から16時15分まで(現地時間)
(2) 場 所 ザ・ジャマイカ・ペガサスホテル(キングストン市)
(3) 出席者 鳥取県：平井伸治知事、浜崎晋一県議会議員 ほか
ジャマイカ政府：カミナ・ジョンソン＝スミス外務・貿易大臣
ショナー・ケイ M. リチャーズ外務・貿易省多国間担当局長
デスモンド・マッケンジー地方政府・地方開発大臣 ほか
ウェストモアランド県：ダンリー・デランシー知事 ほか

(4) 概 要

- ・平井知事は、ハリケーン被害に対するお見舞いの意を表するとともに、県民に募金と呼び掛け集まった支援金をデランシー知事に贈呈し、復興を祈念するメッセージを伝えた。
- ・デランシー知事からは、ハリケーン被害に対する支援への感謝と多様な分野での交流発展への期待が示された。
- ・両知事は、両地域の交流が両国の友好に貢献することを確認した。
- ・ジョンソン＝スミス大臣から、県スポーツ交流員であるクリスティン・デイ氏を通じて日ジャマイカのスポーツ交流が進んだこと、また昨年万博での青少年交流で培った日本とジャマイカの友情は将来に向けて両国の友好を促進するとの発言があった。



(左から)デランシー知事夫人、リチャーズ局長、デランシー知事、平井知事、ジョンソン＝スミス大臣、マッケンジー大臣、丸山大使、浜崎会長

4 ダンリー・デランシー ウェストモアランド県知事との面談

- (1) 日 時 8月31日(月) 16時30分から16時40分まで(現地時間)
(2) 場 所 ザ・ジャマイカ・ペガサスホテル(キングストン市)
(3) 出席者 鳥取県：平井伸治知事
相手方：ダンリー・デランシー知事 ほか

(4) 概 要

- ・平井知事が、令和7年10月28日にジャマイカを直撃した「ハリケーン・メリッサ」による甚大な被害に対するお見舞いの意を伝えた。
- ・デランシー知事からは、今年秋にウェストモアランド県の高校生を鳥取県に派遣することで日ジャマイカの青少年交流をより一層推進していきたいとの発言があった。



デランシー知事との面談の様子

5 JJ(日ジャマイカ)パートナーシップレセプション

- (1) 日 時 8月31日(月) 17時10分から18時45分まで(現地時間)
(2) 場 所 ザ・ジャマイカ・ペガサスホテル(キングストン市)
(3) 出席者 鳥取県：平井伸治知事、浜崎晋一県議会議員、
クリスティン・デイ スポーツ国際交流員
ジャマイカ政府：ショナー・ケイ M. リチャーズ外務・貿易省多国間担当局長
ウェストモアランド県：ダンリー・デランシー知事 ほか
ジャマイカ陸上競技連盟：ガス・ゲイル ジャマイカ陸上競技連盟会長 ほか

(4) 概 要

- ・平井知事が、各出席者の日頃からの本県との交流への協力及び本日の行事への参加への感謝の意を伝えた。
- ・本県とジャマイカのこれまでの交流に貢献いただいた陸上・交流関係者が一堂に会し、今後の本県とジャマイカの友好関係をJJパートナーシップの理念に基づき、より一層深化していくことを確認した。
- ・県スポーツ交流員であるクリスティン・デイ氏と日ジャマイカ陶芸交流に携わったダナ・ボー氏の県民との交流の様子が紹介され、日本とジャマイカ間の交流の重要性を確かめた。
- ・今年7月に布勢スプリント女子100mで2位と活躍したナトリース・イースト選手も出席し、世界陸上U20選手権4×100mリレーで金メダルを獲得したことが紹介された。
- ・昨年度ジャマイカの高校と姉妹提携を結んだ岩美高等学校吹奏楽部の演奏動画も上映された。



レセプションの様子

ニューヨークにおける知事トッププロモーション等について

令和8年9月15日
国際観光課
交流推進課

米国・ニューヨーク市内において、知事が現地県人会の記念行事へ参加するとともに、日本酒のトッププロモーションや観光情報説明会を実施し鳥取県の食や観光の魅力発信を行いましたので報告します。

1 ニューヨーク日本国総領事館片平聡大使との面談

- (1) 日 時 9月1日(火) 17時10分～17時40分(現地時間)
- (2) 場 所 在ニューヨーク日本国総領事館(ニューヨーク市内)
- (3) 出席者 片平聡(かたひら さとし)大使ほか
- (4) 概 要

- ・米国東海岸での本県の認知度向上や、観光客誘致・鳥取和牛や二十世紀梨、民芸などの販路開拓等について幅広く意見交換を行った。
- ・特に米国においては、日本酒や食を絡めたPRが効果的とのことで、今後、総領事館と連携して米国東海岸の情報発信に取り組んでいくことを確認した。
- ・領事館のイベント等でも本県の観光や食、文化などの情報を発信いただけることとなった。



面談の様子

2 ニューヨーク鳥取県人会創立30周年記念行事

- (1) 日 時 9月1日(火) 18時00分～19時50分(現地時間)
- (2) 場 所 ニューヨーク市内飲食店
- (3) 出席者 内田誠(うちだ まこと) 県人会会長、おかある星のらぶれ～す同副会長
片平聡(かたひら さとし) 在ニューヨーク日本国総領事館大使
藤野健(ふじの けん) 自治体国際化協会ニューヨーク所長 ほか
- (4) 概 要

- ・赤澤亮正経済産業大臣から記念メッセージが寄せられた他、平井知事から県人会へ記念盾を、内田会長及びおかある副会長へ感謝状を贈呈した。
- ・来年のワールドマスターズゲームズ2027関西に向けてグラウンドゴルフ体験を行い、大会への機運醸成を図った。
- ・県人会関係者及びJETプログラム経験者(鳥取県国際交流員、英語指導助手)とともにニューヨークでの県人の更なる活躍について意見交換を行った。



記念行事の様子

3 ANAニューヨーク支店マネージャーとの面談

- (1) 日 時 9月2日(水) 10時30分～11時00分(現地時間)
- (2) 場 所 ANAニューヨーク支店
- (3) 出席者 松平定憲(まつだいら さだのり) マネージャー
- (4) 概 要

- ・まんがやVIVANT、カニ、鳥取砂丘をはじめとする自然、食など幅広い観光資源を活用した米国からの誘客について意見交換を行った。
- ・ワールドマスターズゲームズ2027関西を契機とした関西広域圏への誘客及び航空便を活用したFAMツアーの実施など連携して取り組むこととした。



松平マネージャーとの
面談の様子

4 THE NIPPON CLUB 事務所長との面談

- (1) 日 時 9月2日(水) 11時15分～11時20分(現地時間)
- (2) 場 所 THE NIPPON CLUB 事務室(ニューヨーク市内)
- (3) 出席者 前田正明(まえだ まさあき) 事務所長
- (4) 概 要

- ・ニューヨーク現地の進出企業等で構成された会員制社交クラブである「THE NIPPON CLUB」を訪問し、今後のニューヨークでの本県物産・観光プロモーション等にて連携を図っていくこととした。



前田事務所長との
面談の様子

5 源吉兆庵ニューヨーク5thアベニュー店での面談

- (1) 日 時 9月2日(水) 11時30分～11時40分(現地時間)
- (2) 場 所 源吉兆庵 ニューヨーク5thアベニュー店
- (3) 出席者 二瓶秀太(にへい しゅうた) VICE PRESIDENT ほか
- (4) 概 要

- ・ニューヨークの代表的な繁華街である5番街に2024年5月にオープンした「源吉兆庵ニューヨーク5thアベニュー店」を訪問。
- ・源吉兆庵鳥取工場、米子工場で作られた米菓、チョコレート、ゼリー等のお菓子が販売好調とのことで、同日の鳥取県観光情報説明会において連携しPRした。



二瓶氏との面談の様子

6 日本酒トッププロモーション

- (1) 日 時 9月2日(水) 13時30分～14時00分(現地時間)
- (2) 場 所 Fat Cat Wines and Spirits (538 Court St, Brooklyn, NY)
- (3) 出席者 Wine of Japan Import, Inc. 小野寺英俊(おのでら ひでとし) VICE PRESIDENT
- (4) 概 要

- ・ニューヨークの現地メディア関係者等に対しトッププロモーションを実施することで、県産日本酒への関心を高め販路拡大や認知度向上を図った。
- ・平井知事からは、本県の日本酒がGI(地理的表示)指定されたことに加え、本県産酒の特徴でもある純米酒の魅力を紹介するなど、参加者に向け力強く本県産酒の魅力を発信した。
- ・参加者からは県産酒の試飲を踏まえ、「お米(強力米)の強さが感じられて美味しかった」「飲みやすさも含めて柔らかさやまろみを感じた」等高い評価や関心が示された。



県産日本酒を試飲する参加者

7 日本貿易振興機構(JETRO)ニューヨーク事務所所長との面談

- (1) 日 時 9月2日(水) 15時00分～15時30分(現地時間)
 - (2) 場 所 日本貿易振興機構ニューヨーク事務所
 - (3) 出席者 桐山伸夫(きりやま のぶお)所長 ほか
 - (4) 概 要
- ・鳥取県から米国へは日本酒やウイスキー、水産加工品等が輸出されており、更なる県産品の販路開拓に向けた連携等を強く訴えた。
 - ・JETRO側からは、嗜好分析の新たな取組みや、米国内での食における健康志向の高まり等の説明や、民芸品の販路拡大の企画等への参加について提案があった。



桐山所長との面談の様子

8 Japan Society理事長との面談

- (1) 日 時 9月2日(水) 15時35分～15時50分(現地時間)
 - (2) 場 所 Japan Society理事長室(ニューヨーク市内)
 - (3) 出席者 キャサリン・モナハン理事長ほか
 - (4) 概 要
- ・鳥取県観光情報説明会開催に係るJapan Society側からの協力に対して感謝を伝えるとともに、本県の自然豊かな観光素材(温泉、食)のプロモーション等にて連携を図っていくこととした。



モナハン理事長との面談の様子

9 H. I. S USA法人での面談

- (1) 日 時 9月2日(水) 15時55分～16時15分(現地時間)
 - (2) 場 所 Japan Society内会議室(ニューヨーク市内)
 - (3) 出席者 小林健二(こばやし けんじ) 全米アウトバウンド統括兼事業推進部長
 - (4) 概 要
- ・米国インバウンド観光客の誘致に感謝するとともに、観光情報発信や鳥取県への送客等への更なる連携と協力を働きかけた。
 - ・同社からは、鳥取県を関西エリア+ONEの訪問地として、プロモーションを強化していくこと、旅行会社等を対象としたFAMツアーを実施するなど、今後のツアー造成の増加に向けた連携の強化について合意した。



小林統括との面談の様子

10 鳥取県観光情報説明会

- (1) 日 時 9月2日(水) 17時～18時30分(現地時間)
- (2) 場 所 Japan Society(ニューヨーク市内)
- (3) 主 催 鳥取県
- (4) 参加者 在NY日本国総領事館 片平聡(かたひら さとし)大使
JETRO、クレア、JNTO、旅行社、メディア、インフルエンサー等 50名

- (5) 概 要
- ・鳥取県の観光スポット・食の魅力などを紹介する説明会に続いて、星空舞、鯨フィレ、カニのバーニャカウダ、らっきょうの県産食材、県産地酒など提供しながらの交流会を実施。
 - ・関西エリアを訪問した多くの旅行会社から、関西圏から鳥取県へのアクセスの利便性が高い事への驚きの声もあり「ゴールデンルートに次ぐネクストディステーションとしての可能性の高さを感じた」との反応や「鳥取県をツアーメニュー造成の候補地として検討したい」との意見があった。



鳥取県観光情報説明会の様子

令和8年度鳥取県多文化共生支援ネットワーク会議の開催結果について

令和8年9月15日
観光交流局交流推進課
雇用人材局雇用・働き方政策課

各機関が連携して多文化共生社会の実現に取り組んでいくため、「鳥取県多文化共生支援ネットワーク（会長：政策統轄監）」の全体会議を開催しましたので報告します。

- 1 日 時：令和8年8月26日（水）午後1時30分から2時45分まで
- 2 場 所：とりぎん文化会館第3会議室（オンライン併用）
- 3 参加者：経済団体、事業者団体、相談・支援機関、市長会他関係団体、労働局、出入国在留管理局 等
- 4 内 容：令和9年4月施行の育成就労制度等により、今後更に外国人材の増加や多国籍化が見込まれるため、外国人住民との融和的なコミュニティづくりや鳥取県へ定着してもらうための工夫など、多文化共生に向けた取組等について意見交換を行った。

5 会議での主な発言

○意見交換（一部抜粋）

- ・日本語教室の運営や教育人材の育成に取り組むと共に、やさしい日本語の普及啓発を行うなど様々な支援を実施しているが、制度があっても知らなければ活用できない。生活支援情報等も含めたパンフレット等があると外国人本人も企業も助かるのではないか。（県国際交流財団）
- ・各市で国際交流員を配置し学校や地区公民館で国際理解や体験イベントを積極的に実施しているほか、自治体情報や防災情報を多言語で提供するアプリを作成している。（市長会）
- ・外国人労働者が安心して働けるよう、チャット形式で労働相談を受け付ける多言語対応可能なフォームを連合内のホームページに設置している。（連合鳥取）
- ・育成就労制度の導入で外国人材の日本語教育や住環境整備などがより求められるので、活用できる県の制度については周知を図っていきたい。（経済団体）
- ・外国人関係の制度をよく理解していない事業者も多いため、業界に即した研修機会があるとよい。また、外国人労働者の安全教育に資する多言語版の教材があると助かる。（事業者団体）

○地域部会の開催結果報告（東・中・西部の圏域別で7月13日（月）及び15日（水）に開催）

- ・県及び県国際交流財団からは、近年の自然災害の多発化を受け、災害時に外国人住民への多言語支援等を行う「災害時多言語支援センター」の体制整備を予定していることを報告した。
- ・また、言語の壁や交通手段、勤務時間等の理由により、公的相談窓口へのアクセスが困難な層に対して、相談員や専門家が公民館、日本語教室等の生活圏へ直接出向いて日本の生活ルールや行政情報の提供を行う、アウトリーチ型オリエンテーション事業(R8 新規)の活用を促した。
- ・参加者からは、日本語教育に関係する教員や支援員（日本語教育試験合格者や教員免許取得者等）が不足していること、日本語学校がない圏域で、外国人労働者が働きながら日本語を学べる場所が必要であること等の意見があった。
- ・今後も県や県国際交流財団、市町村、商工団体等で実施している日本語学習や教育、雇用・労働等の様々な分野での外国人支援に係る取組について共有し、相互に連携して進めていくことを申し合わせた。

漫画「四十七大戦」10周年記念企画の開催について

令和8年9月15日
まんが王国官房

平成28年9月から連載が始まった漫画「四十七大戦」が本年度で10周年を迎えました。漫画では、主人公の「鳥取さん」の活躍を通して鳥取県内の観光地や食パラダイス鳥取県が描かれていることから、記念企画を実施しています。

1 10周年記念イベントでの鳥取県PR

- (1) 日時 令和8年8月23日(日)
- (2) 場所 ラゾーナ川崎プラザ内「プラザソル」
- (3) 内容 「首都 鳥取」への誘客を図るため、鳥取県観光宣伝コーナーの設置や観光動画を放映。

2 とっとり・おかやま新橋館でのコラボカフェ

- (1) 期間 令和8年8月23日(日)～26日(水)
- (2) 場所 とっとり・おかやま新橋館 2階
- (3) 内容 漫画に登場する「鳥取さん」や「岡山さん」の等身大パネルや複製原画の展示。店内をカフェ風に装飾してコラボメニューの提供。
＜コラボメニュー＞(コラボメニューは9/4まで提供)
鳥取さんの「二十世紀梨」スパークリング・ノンアルコールカクテル(実績 79個)
岡山さんの「漆黒のきびだんご」ロイヤルミルクティー等(実績 51個)

3 「四十七大戦」作品展

- (1) 期間 令和8年9月11日(金)～9月27日(日) 入場無料
- (2) 場所 鳥取県立博物館 第2展示室
- (3) 内容 作品の世界観をリアルに鑑賞できるように複製原画や等身大パネル、作品に出てくるモデルガンの展示等を実施。

4 「四十七大戦」周遊スタンプラリー

- (1) 期間 令和8年9月11日(金)～11月30日(月)
- (2) スタンプ設置場所(8か所)：鳥取砂丘情報館サンドパルとっとり、とっとり賀露かにっこ館、はわい温泉・東郷温泉観光案内所、エースパックなしっこ館、円形劇場くらしフィギュアミュージアム、大山町観光案内所、とっとり花回廊、夢みなとタワー
- (3) 景品等 スタンプ2か所以上：「四十七大戦」オリジナルポストカード(先着500枚)
スタンプ全て(8か所)：「四十七大戦」オリジナルアクリルキーホルダー(先着200個)
- (4) SNSキャンペーン
「まんが王国とっとり」のXをフォローし、「#四十七大戦」を付けて、「四十七大戦×鳥取県」に関連するもの(スタンプラリーの施設、作品で紹介された場所や特産品などの写真)を投稿すると抽選で30名に特産品3,000円相当をプレゼント。

5 その他

- ・「四十七大戦」10周年を記念して、本県の観光地や特産品を紹介した「聖地巡礼MAP」の作成(1万部)
- ・本県の10周年記念企画を紹介した特設サイトの作成

(参考) 漫画「四十七大戦」の概要

- ・主人公の鳥取さんをはじめとした47都道府県の「ゆる神」による首都争奪戦を描いた作品。
- ・鳥取さん、島根さんなど各都道府県のゆる神はご当地神として活躍し、首都争奪戦では県の観光地・名産品などを武器に決闘する。攻撃が効くと、ダメージを受けた県からダメージを与えた県に人口が移動する。どちらかの人口が臨界点を下回ると、相手の都道府県を併合するという仕組み。
- ・第14巻の最終話では、戦いに勝利し最多人口となった鳥取県が首都となる。